

「明日への扉は

自動ドアじゃない！」

何もしていなくても、生きている限り明日はやってきます。

ただ、明日をどのような一日にできるかは自分次第です。

S-mile 通信



令和5年5月15日発行 第63号

発行/理事長室 浜松市西区大山町 2958 番地の1

『こいのぼり』（端午の節句）～てんとうむし保育園

5月のこどもの日に向け、てんとうむし保育園の畑にあるポール2カ所に大きなこいのぼりを飾りました。

5月2日には保育園の園児達が「こいのぼりパレード」を行い、保育園前の駐車場から畑まで大はしゃぎで行進しました。雄大に泳ぐこいのぼりを見て、みんな大喜びです。



(●' ∪ ●) (●' ∪ ●) (●' ∪ ●) (●' ∪ ●) (●' ∪ ●) (●' ∪ ●) (●' ∪ ●) (●' ∪ ●)

この度、慶成会ホームページにてんとうむし保育園専用のInstagram バナーを設置しました。

かわいい子供達の様子を連日アップしていますので、皆様ぜひ“いいね” を押してあげてください。



介護職員初任者研修が始まりました。

令和5年度の介護職員初任者研修を4月14日（金）開講しました。

今回の受講生は慶成会の職員が3名、近隣の施設にお勤め

の方など外部からの参加者が7名で合計10名の方が参加されています。初日の開講式の後、オリエンテーションを経て受講中の注意点を説明し、1回目の講義に入っていました。

全15回の講義前半は主に座学中心であり、理念や介護保険制度、認知症についてといった介護知識に関するものが多く、初心者にとっては初めて聞く言葉や理解しにくい内容の講義が続きます。既に4回の講義が終了していますが、皆さんテキストや参考資料を元に学習を進め、自宅で学ぶ添削課題も遅れることなく提出されています。

この先7月末まで長期間の研修ですが、慶成会講師の皆様にも協力をいただきながら順調に講義を進めていきます。

全員が無事に修了できるよう、皆様からの応援を宜しくお願い致します。



慶成会で働く職員ひとり一人が人間力を高め、「仲間意識とコミュニケーションの向上」「健全な仕事観・人生観の確立」を目指すことが目的です。

初日は各部署の管理者、及び5年以内に入職した新卒職員を対象に28名が集まりました。「致知」出版社のコーディネーターが来訪し進行をリードしていただきました。参加者はくじ引きで1グループ4名を目途に7グループに分かれました。皆さんには予め月刊誌「致知」を配布し、感想文を用意いただくようお願いしています。お互い持ちよった感想をグループ内で発表しながら、美点凝視（※1）、素心の視点（※2）で相手を褒め合いました。

人間は思考のクセとして相手の短所はよく目に着くのですが、長所については常に相手を意識していないとなかなか見つけにくいものです。お互い初対面の方も見えましたが、仲間に褒められ続けると次第に笑顔が溢れ、終始会場が和やかなムードに包まれました。



最後は、各グループの代表が前に出て当日の感想を述べると会場が多くの拍手に包まれました。熱気が冷めないままの閉会となりましたが、皆さん木鶏会の良さを感じられたと思います。次回は5月開催予定です。

- ※1「美点凝視」・・・相手の短所や欠点に目を向けるのではなく、長所や徳性に意識的に目を向けること。
- ※2「素心」・・・純粹で汚れていない人間本来の心。木鶏会では役職・年齢・キャリア・性別は考えない。

テキストである月刊誌「致知」には、企業の経営者だけでなく、文化人やアスリート、タレントといった様々なジャンルで活躍する著名人の生き方、生きる姿勢が多く掲載されています。

読むことで生き方を学べる人生の教科書です。

特養グリーンヒルズ東山玄関横の図書コーナーや職員食堂に置いていますので、自由にご覧ください。



◆突撃！職員インタビュー◆

田中 輯さん【グリーンヒルズ東山／営繕】

学校を卒業後、先輩の紹介で浜松の会社に就職し44年間電気関係の仕事に就いていました。設計・製造・販売までを一手に行う会社で、従事した販売部門で日本各地を飛び回っていました。元々運転することは好きであり、62歳で定年を迎えるまで営業を続けました。

慶成会へ就職したきっかけは、送迎運転手の求人でした。

最初の頃はショートステイの送迎業務を行っていました。当初はご利用者の自宅場所を間違えたり、認知症のことも分からないまま不穏な様子のお年寄りをお送りしていました。送迎中はとても不安であり、このまま仕事を続けられるのだろうか心配になることもありました。時が経ち仕事にも慣れてくると、度々送迎する利用者のご家族と顔なじみになったり他部署の送迎応援もできるようになりました。

75歳になったため、この4月からは13年間行ってきた送迎業務を外れ、営繕専門の仕事を行っています。

以前から現場の職員に頼まれリハビリの器具やお風呂の介助台を製作したり、ブラインドの修繕清掃、水回りの部品交換をしたこともあります。先日は保育園から依頼を受け、仲間と一緒にこいのぼりを飾るポールを設置しました。これらの仕事は専門の業者へ任せるような仕事ですが、あくまで自分の意思で行っています。費用削減の効果



果だけではなく、自分で業者の作業を見ながら学ぶことで形になればやりがいにも繋がります。自分のペースでできる仕事はとても楽しく充実しており、周囲から頼られることが一番のモチベーションです。今の所は体調も良好で仲間にも恵まれています。自分を必要としてもらえるうちは、元気な限りお仕事を続けていきたいと思っています。

